

第23回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成22年3月

応募者名: 京都府 亀岡市

事業の名称: 南丹都市計画道路事業

3・5・7号亀岡停車場三宅線

(亀岡駅前広場)

実施都市名: 京都府 亀岡市

事業目的

亀岡市は京都府の中央部に位置し、山陰街道の城下町として発達してきた大都市にない独自性のある都市であり、また京都、大阪の都市圏に隣接している。

その立地条件の良さから、昭和40年代後半以降、著しい人口増加による急速な都市化が進む一方、亀岡市の玄関口であるJR亀岡駅の南口広場は、面積が約1,900㎡程度しかなく、施設内容も不十分で、交通需要に対応しているとは言い難い状況であったため、JR嵯峨野線の複線化やJR亀岡駅舎の橋上駅化、北口広場整備と一体となって駅前広場を整備し、「都市交通」、「中心都市核」の拠点としての機能を高める。

事業概要

事業名称:南丹都市計画道路事業

路線名:3・5・7号亀岡停車場三宅線(亀岡駅前広場)

事業箇所:京都府亀岡市追分町地内

広場面積:4,900㎡

事業費:約24億円

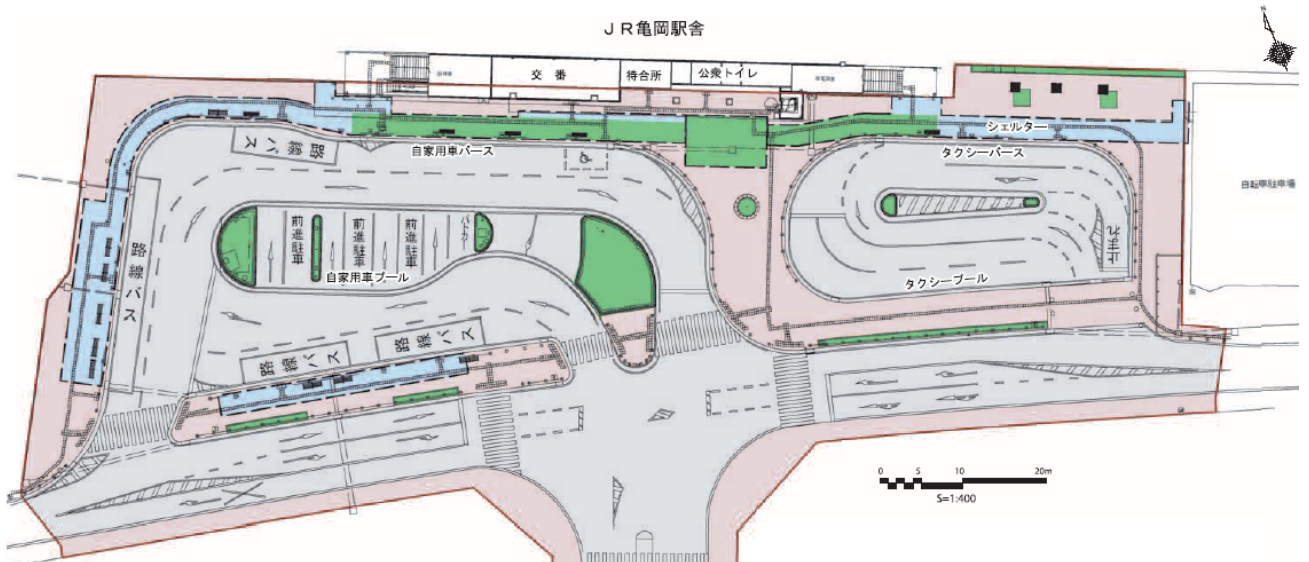
事業実施期間:平成10年度～平成21年度

本事業は、JR嵯峨野線の複線化やJR亀岡駅舎の橋上駅化、北口広場を整備することにより、乗換機能の向上や利便性・快適性・安全性の向上、バリアフリー化の実現を図る。

事業位置図

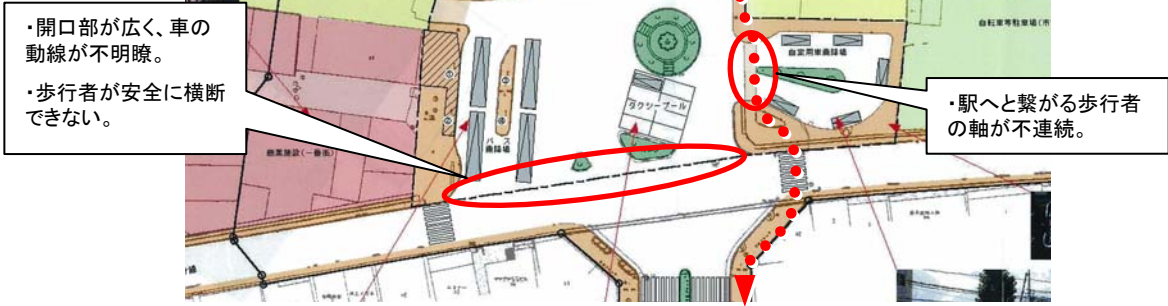


全体図(平面図)

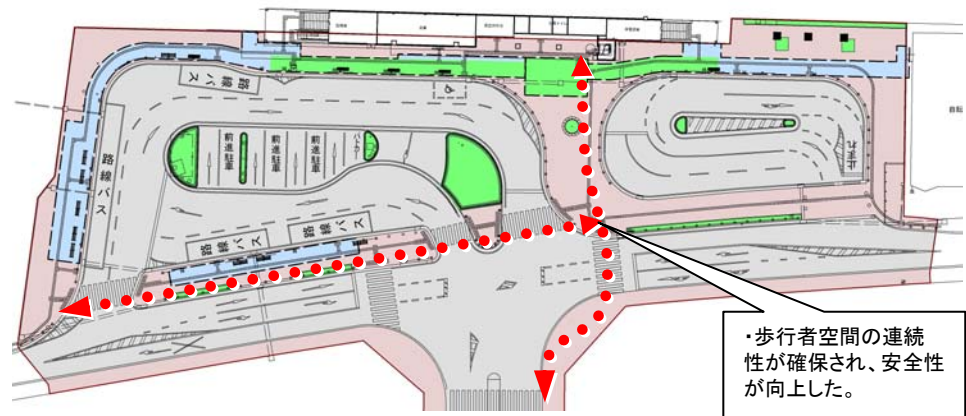


亀岡駅前広場の整備効果アピール資料

旧 亀岡駅前広場



新 亀岡駅前広場



○事業概要

事業名：南丹都市計画道路事業
 路線名：3・5・7号亀岡停車場三宅線
 （亀岡駅前広場）
 事業箇所：京都府亀岡市追分町地内
 広場面積：4,900㎡
 総事業費：約24億円
 事業期間：平成10年度～平成21年度

○事業の効果

・亀岡駅前広場発のバス本数（平日）
 整備前 160本
 整備後 181本

「整備効果」

- ・ 自動車交通利便性向上便益 : 3億円
- ・ 歩行者の移動サービス向上便益 : 32億円
- ・ 滞留・交流機会増大・都市景観向上便益 : 3億円

「その他の事業効果」

- ・ 円滑なモビリティの確保 : 広場内レイアウトが明確になり、各車両バースが増加。
- ・ 都市の再生 : 駅周辺において、土地の高度利用が促進。
- ・ 生活空間の形成 : 環境空間面積増加等により、歩行者・自転車の安全性・快適性が向上。
- ・ 地球環境の保全 : 広場内シェルターの上部を緑化。

事業前写真

平成11年2月撮影

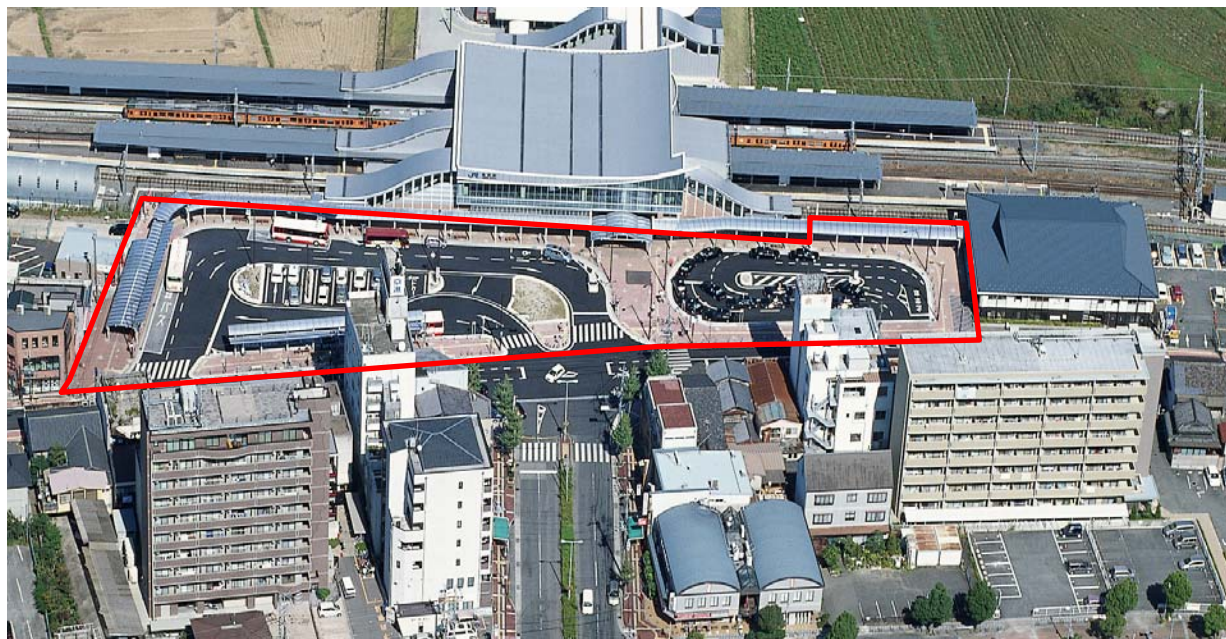


平成11年4月撮影



事業後写真

平成21年10月撮影



平成22年2月撮影

